

く、というまちづくりを進めていこうと考えています。

スポーツばかりでなく、写真も大学の合宿も受け入れをしよう、と考えています。どうでしょう、トライアスロン選手とか写真の町事業の学生さんとか、皆さんのお店に寄っていますか？

寺林 トライアスロンの選手が来ていました。アスリート選手は炭水化物を摂りたいんですね。大会前日の夜に3組来て「明日トライアスロンの大会なんです」と言ってお客さんが増えてきました。

千幸 写真関係のお客さまは何名かいらつしやいました。高校生の方も来ましたけれど、まだまだ、という感じですね。

寺林 うちが年配のお客さんが多いんです。もつと若い人が来るとういな、と思います。

彰紘 うちも比較的年配のお客さんです。

千幸 昼食時はボリュームの多いメニューを用意しているので、サラリーマンのお客さんも来ます。

彰紘 最近良く話を聞くのは、東川にお店が増



松岡 子供に「このおはいいでしょうね。親も必ず付いてくるといいますね。」

きで、豊富にいた時は仕事でオホーツク海側を走る時には、冬場はオジロワシとかオオワシとかを見て楽しんでいました。天人峡、旭岳温泉、旭岳源水の辺りにもカワガラスとか希少な鳥がいるので、都会の生活では味わえない自然がある、というところをもつとアピールして集客できるんじゃないかな、という思いがあります。

寺林 にぎわいを一カ所に固める、ということはないほうがいいと思います。一カ所に固めると、どうしてもそこだけ、ということになってしまいます。一番奥には北の住まい設計社さんとかあるので、狭くしてしまわないほうがいい。土、日限定で町内循環バスを用意する、ということもありかな、と思います。

千幸 親は子供の行くところに必ず一緒に行きますから、子供用の大きい遊具施設を造ってはどうか。こんな広い土地があるのだから、子供に優しい遊具を造つたら来る人が増えるんじゃないかな。

寺林 冬場屋内で遊べる施設がないですよ。木工の町でもあるし、木で遊べる遊具施設というのでも良いんじゃないですか。

えたということ。東川に行ったら、最近おしゃれなお店が増えてきて、そういうお店に入るのが楽しいんだ」といいます。そんな方は1軒だけじゃなく、何軒も行っている人は最近増えているような気がします。

寺林 最近定食屋さんも出来ましたし…。

松岡 道道から入ったところに喫茶店が出来たり、定食屋さんが出来たり…。そういうお店がたくさん出来ることとお客さんを呼ぶんでしょか。

寺林 1回じゃ回れないので、次はあちらに行こう、というのがあるよ。奥に忠別ダムや旭岳温泉水がありますから、水汲みに行ってきた帰り、温泉に行ってきた帰りに寄ってくれた、というのはありますね。

烟中 年配のご夫婦と娘さんが旭岳温泉に泊まってその帰りに寄ってくれた、ということがありました。でもうちは帰りがた、というのはいらないようです。

彰紘 ホテルの従業員の方が来てくれました。水汲みに行ってきた帰りに寄ってくるといいますね。

松岡 子供に「このおはいいでしょうね。親も必ず付いてくるといいますね。」

るでしょうし、子供同士が友達になるし、顔を合わせるうち親の方も友達になるでしょうし、近くに食事する所があれば、そこで食事もするでしょうし…。

彰紘 子供が大きくなるような町ぐるみの制度があったらいいですね。例えば留学制度とか大きな視野で…。

松岡 小さな子供が自分で学んで行動する、という子供に育ってほしいな、と思いますね。

千幸 保育園が日曜日に休み、というのが共働きの親にとっては困ります。今はパートさんに頼んだり、札幌から来てもらったりしていますが、そういう苦労があります。これから商売始めたいな、という方にとってもそれが充実していればうれしいと思います。東川で子供が生まれたらいいと思ってるんですが…。

松岡 商売をやっている方にとって、子育て支援がもう少し充実すれば、若い人たちも暮らしやすくなるんじゃないかな。

ところで皆さんのお店は常連客のお客さんは増えましたか。

さんもいます。

松岡 特徴的なお店が3軒並んでいるわけですが、相乗効果はあるでしょうか。

寺林 ここに来ようと思つてきたら隣にも店がある、それじゃあ次回に行こうね、というのがありますね。「隣でうどん食べているから作つておいて」という方は結構いらつしやいます。同じ炭水化物の店ですが、まったく違うので競合はしないですね。

松岡 皆さんのお店を始めたばかりですが、将来の夢というところではいかがですか。

寺林 今は狭い店内に全部詰め込んでいます。焼き窯を置いてしまったので、ガス台を置くスペースがないんです。ですからもう少し広く、お客さんもゆつたりと座れるように、郊外の1軒家でやりたいですね。

烟中 うちは一軒家なんですけれど、店舗と工房を合わせるとスペースが狭いんです。真ん中に1・5坪ほどの冷蔵庫が入ってしまったので風の流れもない。出来れば郊外に、店舗兼工房で、工房を広く取って駐車場もある所がほしいですね。

彰紘 私たちは、東川で生活して、

千幸 今は雪の中でも来てくれる方が増えました。

寺林 一度食べてもらつて気に入ってもらえると、来ていただいています。女性の方、ご年配の方が来てくれています。岩見沢からわざわざ来てくれた、というお客さまもいて大変ありがたいです。

烟中 少しずつお得意さんがいらしています。旭川から来ていただいたりしています。町内のお客さんがもつと増えてくれればいいな、と思います。

松岡 今人口8千人ぐらいですが、これくらいの町はお互いの顔を見ることが出来て、名前を呼べるような規模であるのがいいのではないかと考えます。何かあったら役場と皆さんとの距離も近い。

もう一つは、過疎でも過密でもない食文化を含めて文化の薫り高い町にしていきたいな、と思うんです。皆さんのように、食文化に携わる職業、というのはそういう意味でも素晴らしい。町なかかぎわつて

いるのは、食べる文化があるからだと思います。これからもまだお店が出来つつありますし、皆さんの競争は激しくなるのかもしれないが、最後に皆さんのお店はこんなところ—というのを聞かせてください。

しかも根ざしてやれるとは思っていません。最初の夢をその通りにやつていられるだけでも幸せなことなんです。ゆくゆくは東川の小麦を育てて、その小麦でうどんを打ちたい、というのが今の夢です。

松岡 皆さん方のお店が町なかからなくなつてしまつと、また寂しくなつてしまいますね。

寺林 今はかなりの数の観光客の方が来ています。道の駅の駐車場は、夏場車中泊していますし…。古いお店はなくなつてきていますけれど、代わりに新しいお店もだんだん出来てきているし、大丈夫じゃないでしょうか。

松岡 町の中でこうすれば、もつとにぎわいが出るんじゃないか、ということはありませんか。

彰紘 東川で一番良いのは、山の風景と地下水と田んぼの風景だと思います。その良いところを知つてもらおう、ということだろうと思います。おいしい水があるからおいしいお米が出来ると、ということじゃないでしょうか。食べ物源は水ですから、その水がとつてもなくおいしい、ということが大事なところじゃないかと思つています。

烟中 私はバードウォッチングが好

寺林 うちの場合はナポリピザというのがまだあまり浸透していませんので、一度食べてみてください。というところでしょうか。

烟中 うちが保存料として硝酸塩は一切使っていません。沖繩の塩と砂糖を使っている点もこだわりで、無添加で安心、安全をアピールしたいと思つています。

彰紘 まだ始めて間もないので、日々の流れの中で作っています。うどんというのは、何もつけなくても小麦粉の種類によつて味が違う。うどん自体にも味がある、というところを意識して作っています。

松岡 私の先祖もうどの本場、香川県なんです。香川県からの入植者の方もかなりいますから、みなさんに一度は食べていただく、そして宣伝マンになつていただければいいですね。そうすることが多くの方に町に来ていただけて、お互いに良くなることにつながるでしょうから、そ

の方たちから東川の素晴らしい食文化を発信していただくことが出来ればうれしいですね。

—本日はお忙しいところお集まりいただき、貴重なお話をいただきました。ありがとうございます。

(収録は昨年12月13日、役場応接室)

「今、生き生きと」は休載します。